

謹誌卷末清佳事名所

凍名 私家 去十九日の夜 出帆

信州・向い乃辛酉夜一木又

州 淑清寺 向京の都令

未馬 寺河の 睡色を片

涉邦考中上

十九日の夜半色

信州北依久郎御代田の有表  
者と清年とて協合致しん処

樋口のお光り 榑州中 三石堂

七 堀川 岡部 三石堂 中

多清 樋口のお光り 十八  
埃川

雪子白く 小公 中

二十日 長野着

真ミカ石とて 而存 大石



二十日 長野着

真力石と戸と而存 左の件

物

。長野市 三原 五五五

大川 四五五

作し 近日大昭の方向上り

。郡新也 沢田 好良

非政友 矢浦 田新 樋口

瓜子 有澤

政友 小川 志々 竹海 大八

兄之

今日 午前十一時二十分

雪世 冒し 滋村 向の 村民

の集めて 懇談 瓜子 瓜

けし

午後六時

中野町 瓜向 庶後 漢説

瓜試也

二十日 午前十一時

上島井原の 政友会 本部

地 佐野の 政友会 の 須坂

矢野 庶後 漢説 瓜試也

蹟 瓜が 好まると 政友の

地 瓜が 覆ふ 瓜得る 瓜 瓜

瓜 瓜

北船が覆るを得る、此の  
及びん

午後四時長野停車場に於

稲荷山野、若柳花田

漸近 直、燕ノ集居

今時五川九馬氏、鮎近 氏、

相本、行り逢中り、カノ言、

有、諏訪ニテ、山田、三ノ氏

ヲ推明シテ、十ノ若代、海士ヲ着

遊セシム、後、汁、カ、遂行

左九時上諏訪着

一本又相、拒、山田、三氏、渡況、合

の、廣、者、軒、下、放、テ、印、形、ト、モ、左

時、新、座、者、創、作、場、交

水、後、約、了、  
二十日、相、集、上、諏、訪、着

又、相、本、迄、一、降、車、ニ、同、乗、河

那、の、渡、況、ハ、終、了、後、諏、訪

ニ、渡、況、の、ノ、甘、意、談、又、相

中、ハ、亦、如、リ、  
創、作、場、者、也、上、諏、訪、ニ、通

即、  
廣、者、ハ、欲、キ、也、又、大、好

中九本... 卷九...  
刻... 上... 道...  
即... 廣... 又...  
揭... 一...

全九行

后... 文... 上...  
の... 村... 産...  
堀... 持... 一...

全十二行

高... 龍... 大...  
後... 二... 名...  
之... 説... 一... 志...  
之... 主... 張... 一... 成...  
前... 漢... 一... 名... 一...

全三行 何... 上... 上... 上...

訪... 引... 一... 文... 相... 也... 説...  
之... 漢... 説... 一... 新... 産... 口... 一...  
伴... 一... 何... 自... 身... 一... 情... 一... 序...

也

全九行 一... 上... 上...

公九行 証法書卷 四下

心と行の形跡は、去つた

と大慈悲観を修すより

が今日の修する深き良況

り守らん此六文、本質

河海よりなる道に在る確

りて大正初年

先より修之を待た

兼く心と行と 急を執

守りて修すを修す

三行を修す

大深くお敬

善如 善なる親

善如 善なる親

う守人 此六文、春の  
河海のりて前道 廿七の  
乃れ 大正 初

先之者 之 之 侍斗

兼之 之 之 急 急 執

字 之 之 之 之 之 之

三 三 三 三 三 三

# 大深 乃 敬 可

之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之

内 務 大 臣 之 部 署 之 部 署 之 部 署  
之 部 署 之 部 署 之 部 署 之 部 署